

起伏図の色分け(海拔)

- 青: 20m以下      オレンジ: 25~26m
- 緑: 21~22m      ピンク: 27~28m
- 黄: 23~24m      赤: 29m以上

交野の町中は起伏が多いと感じたことはありませんか。例えば「交野郵便局前」交差点を南北に通る道を郡津から私部に歩くと、免除川の手前で上り坂になり、交野郵便局を過ぎると市役所まで下り坂、市役所西側駐車場の横からはまた上り坂になりといった風に起伏があります(上図参照)。

大昔、交野を含む日本の大半は海の中でした。その後、海面が下がって陸になるときに、海水の浸食作用で平坦面と崖が交互に作られました。交野の町中の起伏もそうして作られたもので、先ほど例に挙げた郡津から私部あたりの高台は「交野台地」と呼ばれています。

台地の起伏は、生活において大事な役割を果たします。高台は水害の恐れが少ないため、住む場所として使われ、逆に低い所は水を流しやすいことから水場や田んぼに利用されます。



▲ 私部城本郭

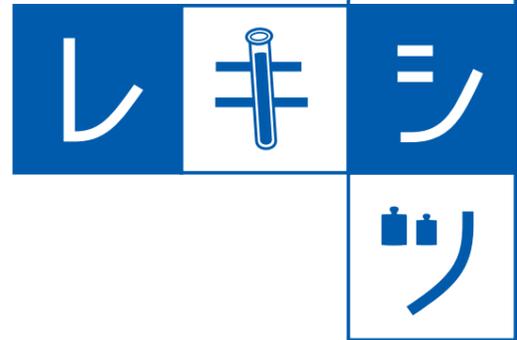


▲ 北田家住宅

昔の人々がこういった地形を上手く利用していたことを示すものに、市指定文化財の私部城跡や国重要文化財の北田家住宅があります。私部城は交野台地の高台に建てられ、低地部や谷地形は堀にすることで戦国時代の堅固な城を築きました。北田家住宅は江戸時代に建てられた代官屋敷ですが、こちらも重要拠点として高台に建てられており、山根街道という古道にも面して当時の私部の中心となっています。北田家住宅は一般公開もしますので、ぜひご参加ください(12頁参照)。

交野台地からは、さらに古い遺跡や文化財として弥生時代の住居跡や旧石器時代の石器も見つかっています。今までは単なる坂として見ていたものも、大昔から生活を形作る地形だと考えると、また違って見えるかもしれません。

歴史×地質



さうだ、  
きさいち植物園に行こう!



※写真は「シロワビスケ」

ツバキの園芸種

ツバキの園芸種は大きく分けて、ヤブツバキ系とユキツバキ系、ワビスケ系などから構成されます。ヤブツバキは花が平開しないのに対してユキツバキは花が水平に開く特徴があり、ワビスケは花は一重で小さく、実ができない特徴があります。



ヒイラギ

山地に生える常緑の小高い木で、葉の縁には鋭いとげがあり、老樹になると梢の葉は全縁のものが多くなります。ヒイラギの名前の語源は、葉のとげに触れると「疼ぐ(ひりひり痛む)」ところからきています。



コルタデリア・クイラ

エクアドルからチリにかけて分布し、全体としてパンパスグラス(シロガネヨシ)に似ていますが、フォルムが優しく、花が淡紫色で葉の色も濃い特徴があります。



サルビア・レウカンサ

メキシコおよび、熱帯アメリカ原産で、広く栽培されています。多年草。半低木で草丈1mになり、花は花穂状で、バイオレットからラベンダー色のビロード状の毛を有するものが開花します。

※気象状況により開花時期が前後しますので、植物園にお尋ねください。

### こぼれ話

植物園では保有する植物1本1本に個体識別番号を付け、リスト化して管理しています。

みなさんも園内を散策されたとき、個々の植物に番号が付いた識別番号プレートを目にしたことがあると思います。

園では、新たに導入した植物や、災害等による倒木で枯れてしまった植物など生存状況が絶えず変化します。そのため、定期的に園内の植物の状態を調査・記録し更新を行っています。

今後みなさんにいろいろな種類の植物を楽しんでいただけるよう、見えない場所で日々作業に汗を流しています。



樹木につけた識別番号プレート



個体識別調査の様子

イベント情報

11月16日(土)・17日(日) 関西文化の日(無料開園)

詳細は当園ホームページ  
(<https://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>)をご覧ください。

大阪市立大学理学部附属植物園  
愛称: きさいち植物園

〒576-0004 私市2000  
☎891-2059 FAX891-2101  
✉b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

ご利用案内 ★65歳以上の市民は、登録いただくことで入園料が無料になります。(植物園メイト)

- 開園時間: 9:30~16:30(入園は16:00まで)
- 休園日: 毎週月曜日(休日の場合は開園)
- 入園料: 大人350円(中学生以下は無料) 団体(30人以上) 280円
- 駐車料: 普通車500円/マイクロ1,000円/バス2,000円
- アクセス: 京阪電車交野線「私市駅」下車徒歩約6分  
JR学研都市線「河内磐船駅」下車徒歩約20分

★詳細は、ホームページでもご覧いただけます。 Web: <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>